



よしぶえ

編集・
淀川河川公園広報委員会
事務局・
〒570 守口市外島町2-41
☎06-994-0006
財河川環境管理財団

►もっと楽しくなる淀川河川公園◀

利用が広がる充実したレクリエーション空間を計画中。

淀川河川公園は、淀川がもつてゐる豊かな自然環境を生かした、長大な水辺のレクリエーション空間として、数多くの地域の人々に親しまれ、利用されてきました。

淀川河川公園には、たくさんの地区があり、それぞれの施設で、さまざまなスポーツや自然観察、地域の催しものなどが行われています。近年では、年間、約270万人もの利用者があり、その利用のし方も「アラティ」に富み、新しい利用のカタチが望まれてきています。こうした新しい利用のあり方に応えるために、今後、5カ年位をめどに、少年野球場（リトルリーグも含む）の増設、ガーデンパーティを楽しめる場所の設置、モータースポーツが可能な場所づくりなど、多様で充実したレクリエーション空間にするための計画を現在検討しています。

また、恒例の河川公園を中心に行われる年間イベントも盛況で、平成2年度後半期は、10月の「都市に緑と公園を」をテーマにした都市緑化月間行事（植木市など）、パターゴルフ大会などをはじめとする楽しい企画が予定されています。



淀川河川公園ウォッチング

四季の自然が心を洗う三川合流点

背割堤地区

背割堤は、木津川、宇治川を両サイドに見る1.4kmの桜並木。そして桂川のむこうには、戦国歴史で有名な天王山がどつしりと川面を見おろしています。そして対岸間近かに見る男山はハイキングコース。京都の山々の遠望。御幸橋と桜の三つの川が合流し、淀川になってゆるやかにカーブしていくこの地区的風景は、葦の群生ごとに四季の自然が味わえる、淀川の名所中の名所です。白サギの美しい姿、



京都の山々の遠望。御幸橋と桜の三つの川が合流し、淀川になってゆるやかにカーブしていくこの地区的風景は、葦の群生ごとに四季の自然が味わえる、淀川の名所中の名所です。

●京阪電車八幡市駅より徒歩10分(駐車場有り)。

都市の遠望と葦の風景が美しい十三野草地区

大阪の都市の遠望と、水辺の葦の対比が美しい十三野草地区は、休日ともなりますと、地域の人たちの絶好のいこいの場所になっています。都会の中の数少ない自然の風景は、子供たちの写生の場所としてもうつてつけ。下流側には、電車や貨物車が通過する鉄橋やアーチが重なって見え、川面には、モーターボートが走っています。冬ともなると渡り鳥の鳴が姿を見せ、野鳥の観察もできます。野草広場の草つみや昆虫さがしなど、家族づれで楽しめるレクリエーション空間です。

●阪急電車十三駅下車徒歩15分。



本格的トリムコース「モクモクランド」がある太閤地区

堤防から見る芝生広場には、せせらぎが光って見え、野鳥の群れが低く飛んで、淀川の自然を感じさせてくれます。太閤地区には、本格的なトレーニングトリムコースがあり、年令に合わせた体力づくりができるよう、コースに沿って幾種類もの解説が表示された案内

板が設置されています。太い丸太を配したジグザグコースや吊輪、シーソー、ジャングルジムなど、変化に富んだ設計で、老人から子供までトリムを楽しめます。また、野球場・陸上トラックが各一面あり、サイクリングロードも整備されています。駐車場有り。

●京阪電車寝屋川市駅よりバス(太閤公園行)で太閤公園下車徒歩5分。



シリーズ

水辺の魅力アップ

淀川口マン街道構想・その3

淀川には昔から「名所」と呼ばれる地が数多くあります。それらは古来、数々の歴史の舞台となったり、多くの和歌、俳句、小説に描かれて、市民に親しまれてきました。建設省では、こうした歴史と自然に育まれた淀川に新名所と言える拠点を整備し、レクリエーション空間として、淀川のいっそうの魅力アップをはかり、市民に親しまれる水辺づくりをすすめたいと考えています。計画のテーマは「淀川口マン街道」で、上流から下流まで13ヵ所を設定しています。今回は第3回目、上流から中流にかけての2ヵ所のご案内です。



歴史の面影をとどめる

鍵屋浦淀川ミュージアム

枚方桜町から三矢の周辺は、淀川を往来した三十石船や、それをめがけて食物を売りにこぎ寄つたらわんか船をしのぶ、船宿や町並が残る歴史的な保存地区です。現存する鍵屋、郵便屋の渡し跡を生かし、旧淀川工事事務所庁舎敷

地を活用して、淀川に関する総合情報提供施設となる「淀川ミュージアム」の整備を図ります。また人工わんどの親水ランドや船着き場の整備を行ない、河川の歴史・文化・治水などがわかる資料館と一緒になった公園施設の計画です。



ポニーと遊ぶレンゲの咲く里

唐崎レンゲ牧場

芥川が淀川に合流する唐崎の周辺は、市民に親しまれている摂津峠につながる地点で、芥川上流に桜の名所が整備されており、堤内にはれんげ畑、堤外では牛の放牧が見られ、古く「鳥飼の牧」を連想させる牧歌的風景があります。

そうした特徴を生かして、レンゲの花をテーマにした公園施設整備を行い、堤内の風景と合わせた「レンゲの咲く里」のイメージを作る計画です。また、ポニーを中心に、小動物を放し飼いにする牧場を整備する楽しい空間計画です。

守口地区(守口フィットネスリゾート)
バスケット・9月30日
オープン!

	大人	中・高生	小人 (3才～小学生)
平 日	1,100円	900円	700円
日・祝 1/2→1/7	1,400円	1,200円	1,000円
ナイト・17時以降	700円	600円	500円

●京阪電車「守口市駅」から徒歩15分／地下鉄谷町線「守口駅」(京阪バス「地下鉄守口」バス停)から徒歩7分。

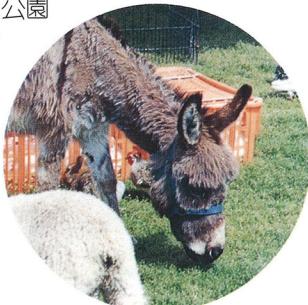
国際花と緑の博覧会の年

今年の前半イベントは「さくら祭」で始まる。

平成2年は、花と緑と人間の生活との関わりをうたつた「国際花と緑の博覧会」が4月1日から9月30日まで、大阪の鶴見緑地で開かれました。淀川河川公園でも、4月は花博協賛イベントとして、1日～2日に「さくら祭」を実施、29日のみどりの日には、「花の帯」完成を祝って、花の即売会や植木相談、ミニSL、ミニ動物園などで、一日中にぎわいました。

また、5月のパーゴルフ大会、6月の「あかえりなさいサツキマスIII」、7月の「ワンドクリーン大作戦」などのLOVE遊淀川キャンペーン、8月の「淀川の自然を楽しむ会」の実施など、盛りだくさんの催しものの連続でした。

さらに9月から10月にかけての、恒例の「淀川河川公園秋季野球大会」がスタートしています。



淀川の水辺でレクリエーション

平成2年度後半 淀川河川公園イベント紹介

●10月1日～31日・都市緑化月間
「淀川河川公園都市緑化祭」

- ▶ 1日・オープニングセレモニー
- ▶ 1～3日・グリーンプレゼント
パネル展

▶ 26日・御堂筋銀杏プレゼント
(場所は、いずれも大阪駅前第3ビル公
開空地にて)

- 10月28日・「パーゴルフ大会」
- 11月18日・「淀川にサツキマスを
もう一度」
- 11月18日・「淀川の自然を楽しむ
会」

●平成3年11月24日・「淀川の自然
を楽しむ会」

- 3月3日・「第18回淀川マラソン
大会」

●3月17日～・河川環境管理財団
「サンスポ野球大会」

